

障害者対策総合研究事業とは

厚生労働科学研究事業補助金は「厚生労働科学研究の振興を促し、もって国民の保健医療、福祉、生活衛生、労働安全衛生等に関し、行政施策の科学的な推進を確保し、技術水準の向上を図ること」を目的としています。平成 19 年度は 28 の課題の公募がされていますが、こころの健康科学研究事業もその一つです。

こころの健康科学研究事業は平成 13 年度(事業費総額 2.1 億円)から開始されています。精神、神経、筋、発達障害の原因を明らかにして、新しい治療法を開発するための研究を推進します。また、うつ、虐待、自殺、ひきこもりといったこころの健康に関する問題もとりあげ、広く国民のこころの健康を維持・増進を図ります。

これらの研究を効果的に行うために、若手研究者の養成や研究者の国際交流など推進事業をあわせて行います。この推進事業の運営は厚生労働省からの委託を受けて財団法人 精神・神経科学振興財団が行います。

障害者対策総合の研究分野とその課題例

精神疾患関連

- ・統合失調症の生物学的病態解明と予防・治療法の開発
- ・双極性障害の神経生理・画像・分子遺伝学的研究
- ・パニック障害の治療法の最適化と治療ガイドラインの策定

神経疾患関連

- ・パーキンソン病におけるパーキン蛋白の機能解析と治療法の開発
- ・プリオン病の画期的治療法に関する臨床研究と基礎研究

筋疾患関連

- ・デュシェンヌ型筋ジストロフィーのアンチセンス治療法の開発
- ・筋ジストロフィー犬を用いた筋ジストロフィーに対する細胞移植治療法の開発

発達障害関連

- ・アスペルガー症候群の成因とその教育・療育的対応に関する研究
- ・広汎性発達障害・ADHDの原因解明と効果的発達支援・治療法の開発

精神保健関連

- ・自殺の実態に基づく予防対策の推進に関する研究
- ・こころの健康についての疫学調査に関する研究